

明日の種をまく

～校長たより～

R4. 11. 16(水)

重点目標

自分を 他を  
鍛え 思いやる

橋中は未来の私の出発点!

## 地域支援課 指導訪問より

### 【中心授業 数学】

- 緊張感のある中で温かい雰囲気がある。
- 課題に対して一所懸命考えようとする姿がいっぱい。

### 【中心授業 技術】

- 考える時間がしっかり確保されている。
- どんなラジオを製作したいのか、どんな目的でどのように使うのかが個人の課題になっている。

### 【公開授業より 鈴木教育主幹】

- 安心して、落ち着いて授業に取り組んでいる。
- 生徒が安心して声が掛けられる。
- あきらめずに課題に向き合おうとしている。
- 板書が振り返りに生かせる。
- 課題は子供から出てきているか？引き出しているか？ Let's 型からWhy 型へ
- 目標→主発問→授業後の子供の姿（評価）がつながっているか？
- ワークシートは穴埋めだけになっていないか？

### 【公開授業より 萩田教育主査】

- 自分なりの問いや考えをつくる取り組みが見られた。
- 伝え合う・深める工夫にICTが有効活用されていた。
- わかるを実感 考えの再構成が伝わる授業内容。

### 【榛原中学校の良さ】

- 授業に真面目に一生懸命に取り組んでいる。
- 温かな空気が教室に流れている。
- 子供のことを大切にしようとしている。
- 子供一人一人への丁寧なかかわり→温かな雰囲気づくり
- ICTの効果的な活用に向けて取り組んでいる。

### 【研修の方向性について】

- ◎基本的に本校の研修が目指している方向で間違いが無い。
- ※<序>の部分では、教師から与えた課題でなく、子供から引き出した課題に
- ※<破>主体的な対話活動に（教師の出番） 子供の思考をどう引き出すか（教師の見取り）
- ※<急>育成された資質・能力をどう見取るか
- ※粘り強く学び続けるための工夫⇒・粘り強く学び続ける子供の姿とはどんな姿か。
  - ・子供のゴールの姿を具体的にイメージする。
  - ・学習問題につながる導入の工夫
- ※対話活動の充実⇒・目標達成につなげるための対話 ・対話の目的、視点の明確化
  - ・考えを深めるための「切り返し、問い返し」

※学びを調整する力⇒・学習の成果をまとめ、振り返る→価値づけ

・自己の変容を自覚する振り返りへつなげる

○単元構想を大切に 目標・評価規準・単元の子供の姿・指導と評価の一体化

○＜序＞考えてみたくなる必要感のある課題（問い）⇒自分事として学ぶ子供に

○＜破＞対話活動⇒・教師の出番・支援・役割

・順序づける、比較する、分類する、関連付ける、理由付け等

○＜急＞評価⇒・指導と評価の一体化を

### 【事後研修会】

○授業中の生徒の表れ、出来事（エピソード）を子供の名前で話している。

○授業中の子供の言動を詳細に再現して話している。

○授業者の「子供に何をどのように学んでほしいか」（教師の願い）が大切にされている。

○ICTを使って校内研修を進めている。

**先生方が、自分ごととして真剣に研究協議に向かう姿を見て、これが榛中の安定につながる大きな要因であると再認識できました。  
ありがとうございました。**

## 全国学力学習状況調査質問紙より

先生方に分析結果をお示しする機会が遅くなってしまい申し訳ありません。別紙の通り質問紙の結果を本校の特徴が表れている項目について抜き出して分析しました。この結果からも、本校の安定が伺えます。課題は、SNS等の視聴時間が非常に多いことです。

**対策が必要です。**